

## 2.大雨に備えて

### 台風・梅雨時には大雨に注意を

海に囲まれた沖縄では、梅雨、台風などの激しい気象現象により、毎年のように河川の氾濫、土砂災害、道路冠水などが発生しております。通常は1ヵ月かかって降るような雨(雨量)が1日で降ってしまい、河川の氾濫や、山崩れ・がけ崩れなどが発生し、私達の生活や生命を脅かします。

一般に、激しい雨ほどその範囲が狭く、長続きしにくいものです。しかし、台風や梅雨前線などは、発達した雨雲を次から次へとつくりだし、激しい雨を長い間降り続かせます。

台風や前線に伴う大雨は、襲来時期や規模を事前にある程度予測することができます。テレビやラジオ、インターネット等を活用して最新の気象情報を収集し、災害対策に努めましょう。



### ○大雨が降るとこんな被害が・・・

#### 家(建物)の中では・・・

床下、床上浸水の危険があります。家の周りの排水が悪い地域や過去に浸水の被害があった家屋は特に注意が必要です。家具や貴重品などは建物の2階など高いところへ移動させましょう。



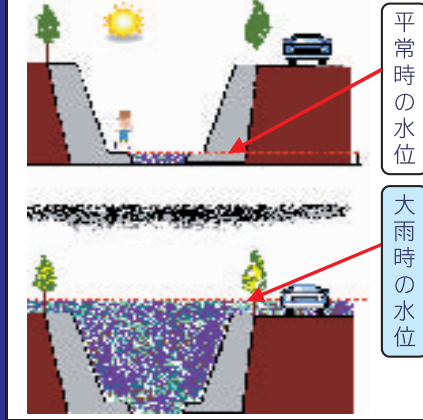
#### 車の運転中は・・・

大粒の雨がフロントガラスを叩きつけ、視界が悪く、非常に危険な状態になります。冠水している道路への進入はエンストの原因となります。水に浸った状態でエンジンをかけると排気口から水が入り込みエンジンを傷めることになります。



#### 河川、排水路では・・・

急激に水かさが増してきて、ふだんは静かな河川が、危険な場所に変じます。河川、排水路には絶対に近づかないようにしましょう!5~6m以上水かさが増す場合があります。



### ○避難するときは

過去に冠水の被害があった箇所は特に注意が必要です。「これくらいは大丈夫」と自己判断せず慎重な行動をとりましょう!!

#### 無理は禁物

単独行動は非常に危険です。歩くことが可能な水深は  
男性 70cm 女性 50cm 程度  
流れが早い場合は 20cm でも危険!  
無理をしないで、高い所で救助を待ちましょう!



#### 足下に注意

水面下にはどんな危険が潜んでいるかわかりません。長い棒を杖代わりにして安全確認しながら歩きましょう。  
また、お互いの体をロープで結んで歩きましょう!



#### 高齢者、子どもは

高齢者や負傷者は背負って避難を! 子どもには、浮き袋等を着用させて、安全を確保してあげましょう!!



### ・雨の強さと降り方

予報用語	1時間雨量 (mm)	イメージ	想定される被害
やや強い雨	10~20	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで、足元が濡れる
強い雨	20~30	どしゃ降り	傘をさしていても濡れる。小規模のがけ崩れがおきる
激しい雨	30~50	バケツをひっくり返したように降る	道路が川のようになる。山崩れ、崖崩れがおきる
非常に激しい雨	50~80	滝のように降る(ゴ-ゴ-と降り続く)	視界が悪くなり、車の運転は非常に危険、マホールから水が噴出
猛烈な雨	80~	息苦しくなるような圧迫感がある	大規模な災害が発生する恐れが強い。厳重な警戒が必要



### ・大雨時の注意

#### ① 大雨や洪水などの注意報と警報について

南城市で予想される雨量等により、沖縄気象台が発表します。

大雨警報 70 mm/h以上  
大雨注意報 40 mm/h以上  
洪水警報 甚大な洪水災害の恐れあり  
洪水注意報 洪水災害の恐れあり



#### ② 山間部・傾斜地・がけ近くは、土砂災害に注意

土砂災害の前兆現象

- ①斜面から小石がパラパラ落ちる。
  - ②地面にひび割れができる。
  - ③斜面からにごった水が流れ出る
- などを発見したら要注意!  
避難勧告が出たら即避難を!



平成19年8月11日 土砂災害 知念中学校

#### ③ 雷の被害にあわないために

雷の音と稲妻の間隔が近くなったら、家の中に入り、テレビ、パソコンなどのコンセントを抜く(電化製品の保護の為)。家の中ではなるべく中心にいるようにしましょう。また、野外では体を低くし、雷が遠ざかるのを待ちましょう。



### ・日頃から

道路や農地、敷地内の冠水被害の原因のひとつに、排水溝の詰まりによるものがあげられます。排水溝(口)にゴミや枯葉などが詰まってしまうと、ちょっとした雨で冠水被害が発生しております。

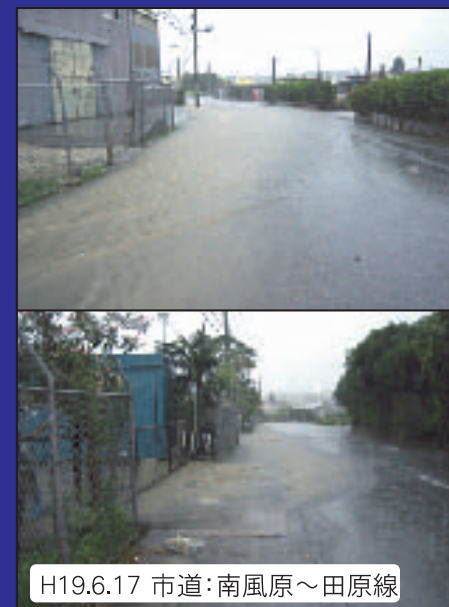
日頃から、自分の家の周りや、畑の排水溝(グレーチング等)の清掃を行い、大雨時に流れ出やすい、枯葉やビニール等の管理を徹底し、浸水被害を減らすようご協力をお願い致します。

#### 排水溝の清掃



#### 浸水対策

過去に浸水被害にあった地域は特に注意が必要です。大雨が降ると予想された場合は、予め土嚢による堤防を築くなどして浸水被害に備えましょう!!



H19.6.17 市道:南風原~田原線